



西南学院大学同窓会 各種諸団体連絡会

○開催日 2015(平成27)年 4月24日(金) 18:30~20:30

○開催場所 西南コミュニティセンター 2F会議室
(大学東キャンパス校地)

■議題等

- 1. 同窓会活動の近況報告等について P1 ~ P4
- 2. 「2015年度 大学同窓会総会・懇親会」について P5/告知チラシ
- 3. 学院創立100周年記念事業・募金事業について 別紙
- 4. 各種諸団体様からのご意見・ご要望について
- 5. その他



〔 100周年記念館(仮称)。イメージ図。2016年5月竣工予定。 〕

西南学院大学同窓会

西南学院は 2016年に 創立100周年を迎えます

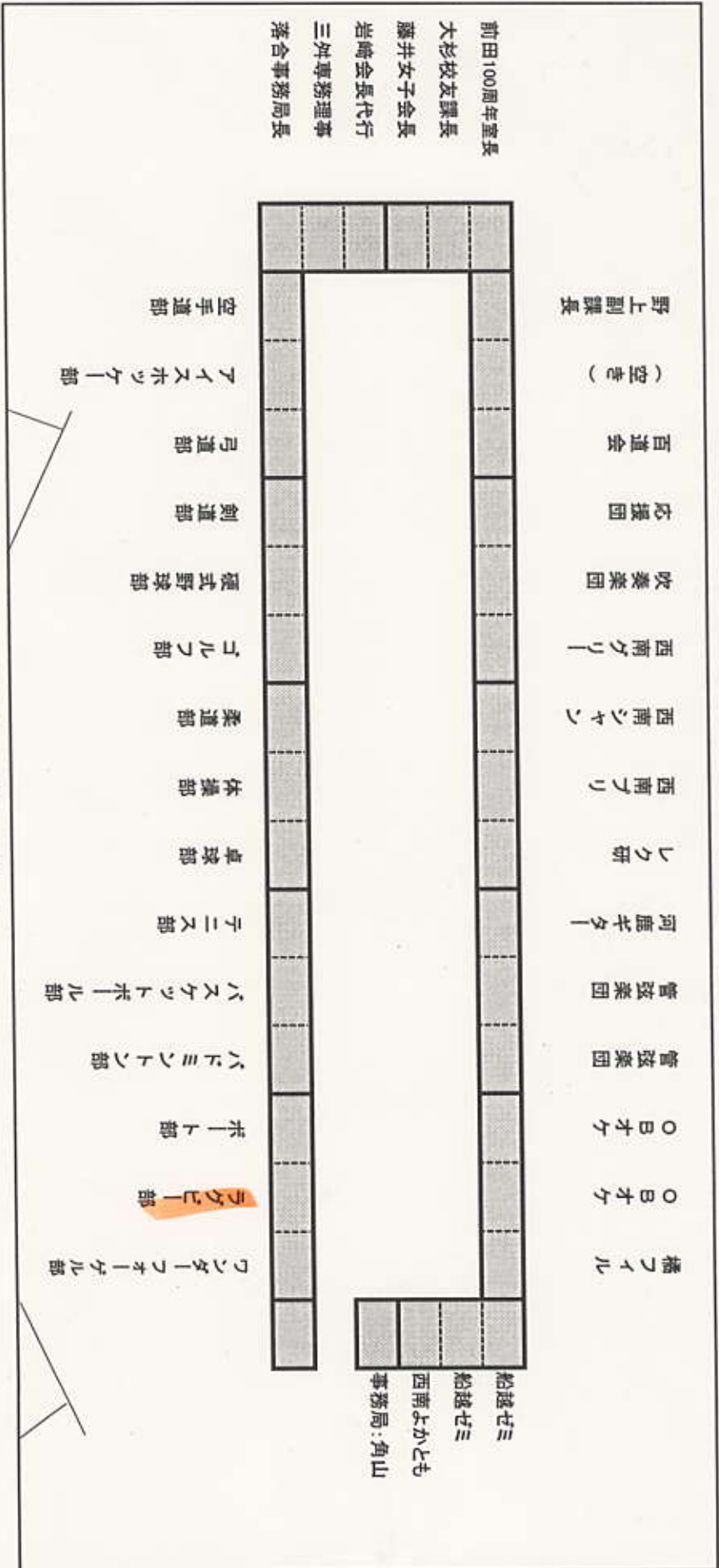


■ 席次表

2015. 4. 24 西南学院ユニバーセンター 2F会議室

・下記席次シニアウトの各団体名の表記は、紙面の都合上、省略短縮しています。

(窓 側)



(通路 側)

平成27年4月22日

西南学院同窓会
支部、各種諸団体責任者各位

西南学院大学同窓会
会長 末吉 紀雄

緊急要請「組織の総力挙げ 募金体制強化をお願いします」

同窓会活動に対し、日ごろからご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。こんごともよろしく願いいたします。

さて、「緊急要請」という形での呼びかけとしましたので、いささか驚かれたことと存じます。実は学院が集約した3月末時点での100周年記念募金の総額は3億2000万円です。目標の30億円の一割程度という底位の実績です。しかし、同時に示された募金への同窓生の参加率は、わずかに1.4%という全く予想もしない数字でした。同窓生の総数は幼稚園から大学までの卒業生を単純に加算した約14万人をベースにしていますが、それにしても1.4%というのは、大学の単年度の卒業生数よりも少ないのです。

100周年の記念式典まであと1年を残すのみとなったこの時点での1.4%です。なんとかしなければなりません。大学同窓会として考えられるあらゆる努力を傾注する所存ですが、各位におかれましても「緊急アピール」の文書を差し上げました理由について、ぜひともご理解いただき、強力なご支援をお願いする次第です。

もとより、募金は学院全体で取り組むものでありますが、同窓会組織のなかで最大多数の会員を擁する大学同窓会としては、ここで立ち上がらなければならないと考えます。中、高同窓会とも連携しながら、参加率については、少なくとも5~10%の幅で達成しなければならないと考えています。

そのため、学院からの公式な募金要請とは別個に、すべての支部（地域、職域合わせて79支部）と各種諸団体の責任者のみなさまに、それぞれの組織で募金体制をいっそう強化していただきたいのです。学院からの要請文に地域、組織、団体ごとの要請行動が重なることによって、より効果的な募金の集約が可能になると思います。具体的には、以下の対応をお願いしたいと考えています。

①募金要請の文書を支部、諸団体ごとに責任者名で文書を出していただきたいと存じます。文書はこの緊急要請文を踏まえたものとし、同窓会事務局で作成します。もちろん、独自の要請文も歓迎します。これに要する資材、費用などは全て事務局で負担します。

②文書以外でも、公式、非公式の会合で募金への協力を口頭でも要請してください。

③②は募集期間終了までお願いいたしますが、①については6月中をメドに文書を送付していただき、9月末時点で、募金額、参加率の両面について成果を見定めたいと考えています。その結果、さらに新たな対応が必要であれば、改めて検討します。

なお、①の文書にはこれまで同窓会事務局などに寄せられた同窓生からの問い合わせなどについても、丁寧に答えたいと考えています。例えば、個人募金の額については、平均的な額として「3万円程度」をお示ししたり、西南学院と取引のある企業、団体への働きかけ方についての相談窓口を紹介するなどのほか、募金活動全体に対するさまざまな疑問に対応したいと考えています。これらの疑問が募金積み上げの思わぬ障害になっている面もあろうかと思しますので、わかりやすく対応しなければならないと思います。

以上